

三刀屋町地域自主組織連絡協議会と市長との意見交換会

【日時】

令和5年10月2日（月）14:00～15:30

【場所】

三刀屋交流センター

【参加者数】

15人

■意見交換会

各地域自主組織の課題の共有・市政への提案等

ご意見) 三刀屋地区は範囲が広く、世帯数・人口も多いが自治会未加入の世帯も多い。人口減少は地域自主組織の運営財源が少なくなる課題もあるが、商店が少なくなり買い物難民も増えている。また、少子高齢化が連担地で特に進んでおり地域の担い手不足や自治会の運営に支障をきたしている状況。

地区運動会開催についても高齢化により種目の維持が難しいなど地域の活動は衰退傾向である。どのように地域を活性化していくのが三刀屋地区の大きな課題。

世代間交流施設ほほえみでのふれあい活動は、地域自主組織としては事業を終了し、施設の所有権をコミケアへ移転することにより若者の交流拠点になっている。ほほえみの活用策は今後の課題である。

ご意見) 最低賃金について。松江市の公民館職員が市長へ給与の変革を求めた新聞記事を読んだ。雲南市も活動交付金の中で人件費について検討中だが、市長は地域自主組織についてどう考えているか。市政の下請けなのか、自らが活動する組織であるべきと考える。防災・福祉・生涯学習などどのような活動をしていくのが地域自主組織の在り方なのか、市としてどのように考えているか知りたい。また市役所職員との人事交流などについて考えているのか。

ご意見) 3月からうなんん幸雲体操を実施している。高齢者が多いので体操を続けるのは課題もあるが支援頂きたい。

市長) 三刀屋地区については、ほほえみにおいて様々な活動をしてもらっている。今後どのように活用していくのか検討中との事、市としても連携できればと思う。

人件費について、最低賃金の引き上げや人事院勧告による会計年度任用職員の賃金の引き上げがあり基本的に連動していくもの。「130万円の壁」等国の施策の方向が出てない状況であり今後の対応を考えていきたい。地域振興課での検討結果を踏まえて考えていきたい。

市職員との人事交流について。今の制度上長期間の人事交流は難しいと考える。研修の中でできないか検討中。地域自主組織の活動を知る機会があれば良いと思う。

幸雲体操を含め、健康づくり事業の需要が増加している。健康福祉部とどのような支援できるか考えたい。高齢者が家に引きこもらず外に出て活躍できる場を作っていきたい。

ご意見) 交流センターの整備計画についてお願いしたい。一宮地区で 100 名以上のイベントとなるとアスパルを使わざるを得ない。アリーナの使用料は 10 数万円、敬老会での使用料は 5,6 万かった。指定避難所としての機能充実のためにも今年は一宮交流センターを整備計画に入れてほしい。

ご意見) デジタル防災無線の屋外スピーカーについて。給下から伊萱の境まで(給下地区) | 基もなく外にしていると聞こえず設置を検討してほしい。

市長) 地域の思いは重々理解しており課題としては認識している。

ご意見) 携帯電話が通じない地域がある。先日救急車が来てどこの病院へ搬送するか救急隊から連絡ができないことがあった。固定電話を借りたり、電波の入る所を探し対応された。以前一般質問で携帯電波エリアについての質問があり、答弁としてこの地域は通話エリアには入っているが電波の悪い所があるとのこと。通じにくいのは古城の大谷地区の一部である。au は通じるがドコモが通じない。

市長) 具体のエリアを確認し携帯事業者と協議したい。不感地帯はなくさないといけないと思っている。

ご意見) 日夜困っている猪、サルについて。地元で罠を設置しても対応が追い付かない。飯石地区は移住先としても注目されており空き家 12 軒に移住されているが、移住者はサルや猪がこんなに悪いことをすると思っていなかったとのこと。裏山に猪が掘った穴が何か所もあり大雨の際に崩れるのではないかと心配するケースもある。早急に対応を進めてほしい。

永井隆博士生い立ちの家について。三刀屋町の市議会議員さんとも連携し活用を検討している。永井隆記念館と生い立ちの家を観光地として、瑞風の誘致をお願いしたい。先日永井徳三郎さんも訪問され屋根の改修を大変喜んでおられた。多くの方に見てほしいとのこと。文化財としての取り扱いを検討していただきたい。

7 月 20 日ドローン贈呈式の際市長のコメントによると旧飯石小学校をドローンの拠点として活用するとのこと。今年度から旧飯石小学校を研修・検定会場として利用されている。体育館は雨漏りトイレは和式しかない。グラウンドは昨日草刈りを実施、その他保護者グループによる奉仕作業やシルバー人材センターに依頼して剪定などを行っており維持管理に力を入れてほしい。

市長) 有害鳥獣について。従来からの補助金を拡充。防除をワイヤーメッシュなど地域単位でどう利用していくか検討中。罠の管理を簡素化していく取り組みも研究中。草刈りや影切りを地域で対策してもらっている。サルについては大型の罠で捕獲し GPS をつけて群れの状態を捕捉する取り組みを始めている。状況を把握し駆除など対策を考えたい。鹿に関しては飯南町、奥出雲町と一緒に広域の駆除を行う予定。今年度、地域おこし協力隊員有害鳥獣担当として 1 名採用し木次で研修中。専門人材を中心に対策を行いたい。

永井隆生い立ちの家、永井隆記念館について。瑞風クルーへ話はしている。観光協会でも研修旅行での活用を PR している。コロナ禍が明け、県内の学校が県外の研修旅行へ行くように

なった。県内の研修地として永井隆記念館をアピールしていきたい。

ドローンの検定会場の件についてどのように運営するかはこれからの検討内容と思う。教育委員会所管のままでいいのかという課題もある。

ご意見) 令和3年から農業団体と集落連携協定を結んだ。資金は中山間直払い制度を活用する。農業団体と地域自主組織で分かれていたものが一緒に取り組んでいる。農村 RMO (農水省の事業) についても、具体的に地域自主組織の事業に取り込んで実施しようと思っている。対象は 380~390 世帯程度。

「よりそい号」について。休眠預金の助成金により導入した車両。1月~8月までの間に 302 件の利用があり高齢者に好評である。よりそい号により高齢者を自宅から鍋山の市民バス停留所まで乗せ運行している。市民バス・だんだんタクシーとの連携を改善できないか。鍋山の自家用有償運行は鍋山地内での運行ではあるが、利用時間に制約がないことがメリット。自宅から停留所・郵便局までの距離でも利用がある。この運行スタイルが高齢者に好評である。だんだんタクシーや市民バスの制度が緩やかになれば地域自主組織が実施する必要もない。もう一步踏み込んで高齢者の交通支援を行ってほしい。

指定管理施設について。深谷温泉は本日も機械の不調により休館している。以前から不調だったが破損しないと修繕してもらえない。指定管理者は休館すると損失となる。このような施設管理のあり方はいかななものか。修繕については市職員が月1回でも見回って確認してほしい。

「生命と神話が息づく新しい日本のふるさとづくり」について石飛市長はどのように考えているのか。神話が息づくとは何を指しているのか。元々ある地域資源や地域文化を守っている住民を大切にすべき、地域資源を地元で管理しその活動に市から報奨金を出すなどしては。夏休みに町内の子どもを対象に鍋山探検を実施した。移住して来られた 12 世帯の方とも鍋山地内を回った。地元住民が頑張っている姿を見せることが重要、市の施策を地域住民が支える仕組みを作ることが大切である。例えば、三刀屋のまちづくり協議会が三刀屋城を取り上げている。里坊地区の文化講演会で三刀屋城を取り上げ見学に行かれた。雲南市の良さを見い出す施策を実施してほしい。

鍋山幼稚園が令和3年、4年休園し、R4年に閉園が決定した。現在農村 RMO 事業の拠点となった。研修を行ったり、集めた野菜を商品として発送できるような場所づくりを考えている。三刀屋児童クラブに入会できない子もいるとのこと。つい最近まで 20 万円くらい費用をかけて鍋山の児童を三刀屋児童クラブへ送迎していた。一宮や三刀屋から鍋山へ通う発想、旧鍋山幼稚園を児童クラブとして再利用する発想はどうか。三刀屋町内で分散するという発想で施策を実施していただきたい。

市長) 車両運送について。松江市でも実施されている AI デマンドバスの研究をしている。特に山間地でより効率的な運用ができないか検討していきたい。人口が減ると地域では 1 人が 3 役、4 役する必要がある。例えば、荷物を運ぶ車両で人も運ぶなど複合化して効率化を図る必要がある。

指定管理については申し訳なく思う、日常点検と修繕が結びついていないので起きている事

だと思う。

地域資源である神話の活用について。地域の素材は沢山あり地域からご提案いただきながら関わりを持っていくべきと考える。

幼稚園、保育所に校区はなく、全市対象で居住地から遠い園へ通っている現状がある。旧鍋山幼稚園跡地を見守りクラブとして利用することについて、地域から提案いただければ検討できると思う。子どもたちを市街地に集めれば良いというものではないとの思いを持っている。

ご意見) 雲南市さくらの会で桜の見どころを回る研修のため、三刀屋町ではどこがよいか担当者に尋ねられた。住民が植えて管理をしている桜を見て元気づけてあげるような企画をしてはと提案した。鍋山の後根波では、自治会で100本の桜を植え19世帯で管理されておりTVでも取り上げられた。この提案をしたところさくらの会研修コースに入った。地域を元気づける取り組みをすべきである。

ご意見) 木次のスローモビリティについて。高齢者の移動支援で実証運行されたが、10月いっぱいまで事業は打ち切りで、終了後地域自主組織での維持はできないとの事。維持に向け支援やサポートをしてほしい。

市長) コスト面などの課題があると聞いている。無人での運行方法等としないと運営が難しいかもしれない。地域交通の確保は重要だと思っている

ご意見) 令和3年7月の災害復旧については対応してもらっているが、中野地区では農地の復旧が進んでいない。町中心部から対応されているようだが地元は待たなしの状況。被災地の農地管理を高年齢ながら頑張っている。仮設水路での保安全管理は普段以上の管理が必要で農業者の体力がもたない。見通しはいかに。

人・農地プランから地域計画に代わり、中山間直接支払制度も令和6年度が切り替え時期を迎える。地域の崩壊が一気に進むのではないかと思う。中野地区は中心地よりも人口減少の傾向だが地域振興に取り組むため支援をお願いしたい。

市役所防災部について。昨日防災研修と防災レクレーションを中野地区で実施した。久しぶりに地域住民100人以上が参加した。防災に男女共同参画の視点が必要と言われているが、より女性の立場で考えることが必要と痛感した。女性職員を防災部へ配置してほしい。

市長) 災害復旧については遅くなっており申し訳なく思う。道路や河川は8割程度発注済み。農業災害復旧が遅れている。公共災の一部を国交省に依頼し延ばしてもらって調整もしているが今年度100%発注は難しい状況。調整を進めながら取り組んでいる。県の発注は終わったようだ。中野地区の災害復旧工事の発注に向け努力していきたい。

災害対応について女性の視点が大切であると認識している。防災部は大雨等の職員待機が多いこともありこれまで配置していなかったのではないかと。今後組織を考える際に検討したい。

ご意見) これまで三刀屋川桜土手と永井隆記念館、三刀屋城山整備について要望書を提出している。総合センターで三刀屋城址の竹林の整備をしているが中途。三刀屋のメインであるので物見櫓の整備を行ってほしい。子ども達の学習材料にもなる。また城山には駐車場がなくトイレも汚い。観光客にとっては綺麗なトイレが重要。要望書の取り扱いはどうなっているのか。2年も3年も経過し未対応はいかがなものか。

第3次雲南市総合計画の策定について、第2次総合計画をどのように検証したか住民に知らせるべきではないか。人口減少にどのように対応するかが問題。具体的にどう人口を増やしていくのか。例えば18歳未満の医療費の負担など。いい例が明石市である。出生率が3パーセントくらい上がっている。若者が増えれば出生率は上がる。検証をした上で第3次計画に取り組んでほしい。

市長) 要望について十分にお返しできていない現状がある。観光施設について順番に対応している。第3次総合計画についても評価を含めて議論している最中、今後お示しできるよう段取りを踏んで取り組みたい。

今後、医療介護、建設、製造などの分野で人手不足が顕著になっていく。雇用のミスマッチを是正する努力や外国人の方の雇用なども考えていく必要がある。

ご意見) 永井隆博士生い立ちの家について規則が活用の妨げになったとの事だがいきさつは。

ご意見) 生い立ちの家にはトイレ・電気・水道施設がない。地域自主組織としてはカフェの開設を考えていたが教育委員会規則に飲食禁止の文言があった。文化財課では規則を改正する方向で検討中とのこと。

市長) 永井隆生い立ちの家は特に火災が怖い。生い立ちの家活用については施設設置の趣旨から検討していく必要がある。

ご意見) 永井隆博士生い立ちの地、雲南市としては「平和を」の都市宣言を掲げている。「平和を」の発信は予算をかけずにできる取り組みであり広島にも近く、現在世界中で反戦が求められており雲南市の情報発信の目玉となるのではないか。

市長) 「平和を」の発信は市民活動として定着していることが強みになる。市民の意識が高いということをPRし、市も協力していきたい。

15:30 終了